

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県 西宮病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	透し未訓ガ	救臨が災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,426,863	28,578	非該当	非該当	7：1

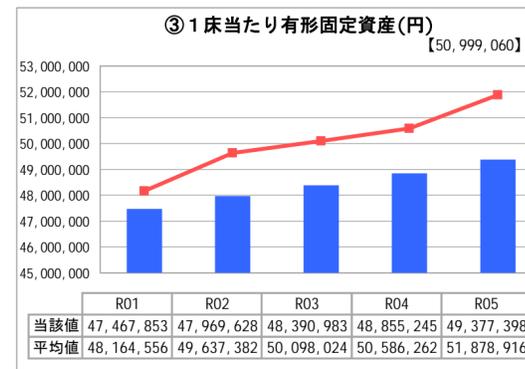
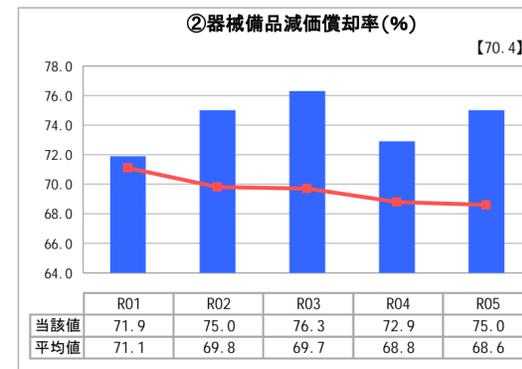
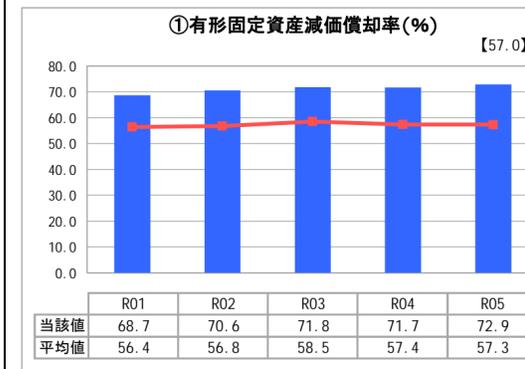
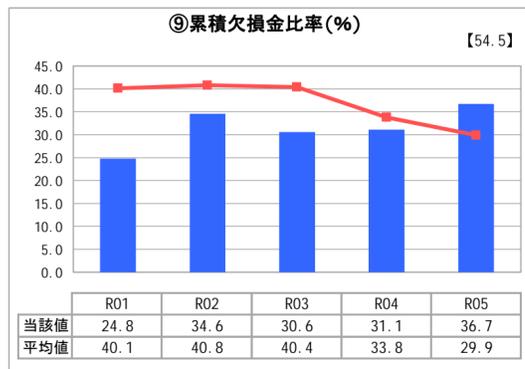
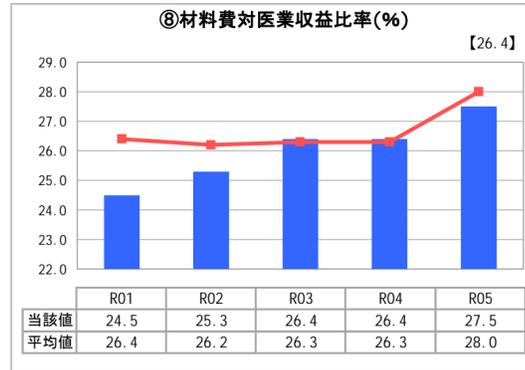
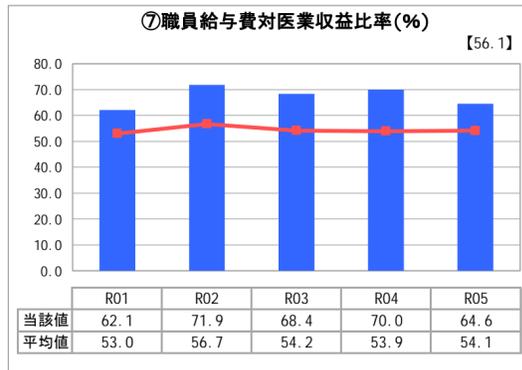
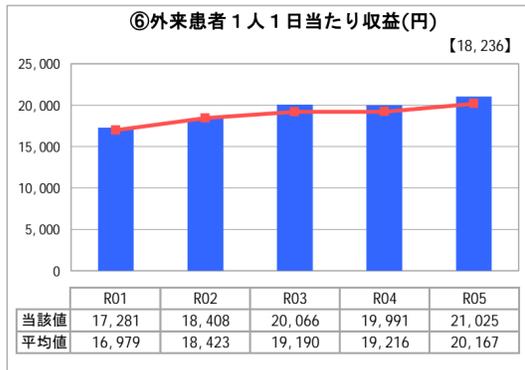
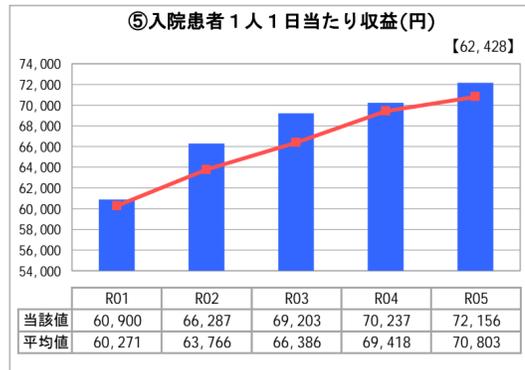
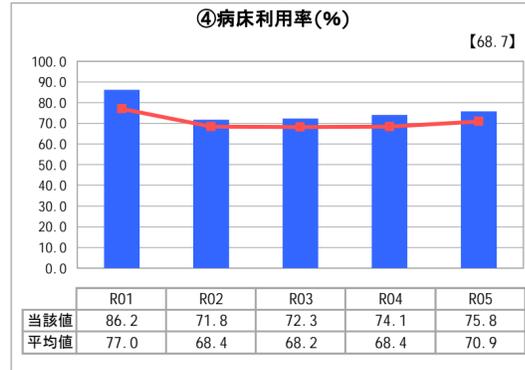
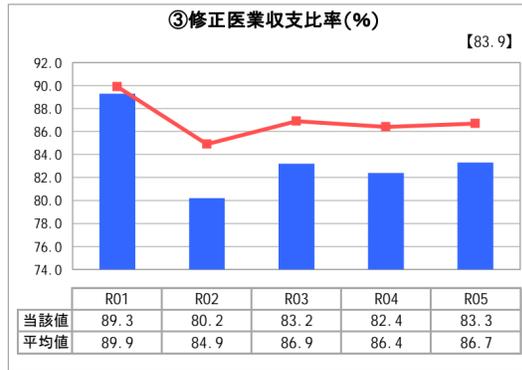
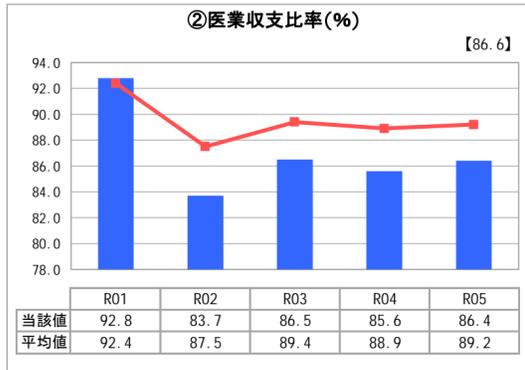
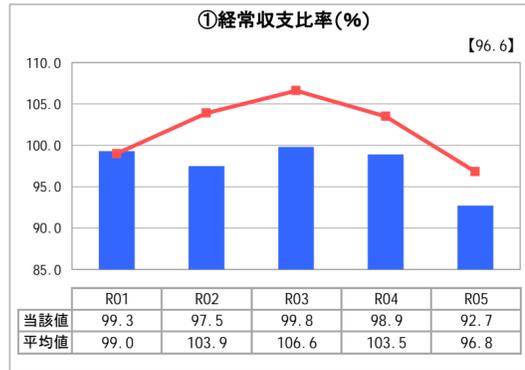
※1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療

※2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
400	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	400
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
400	-	400

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

地域医療支援病院として、地域完結型の医療を実現するため、地域の医療機関とその機能分担を明確にした病病・病診連携に積極的に取り組んでいる。
また、阪神地域の急性期医療の中核を担う当院では、救命救急センターとして地域とも連携を図る中、全診療科で重症患者に対応できる救急診療体制をとっていることに加え、災害拠点病院としての役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益については、新型コロナウイルス感染症の病床確保料（空床補償）が5類移行に伴って大幅に減少したこと等により減少した。
費用については、高額薬品の使用や手術用診療材料の購入増、人件費や物価高騰の影響による経費の増も影響し、経常収支率が類似病院平均値よりも4.1%低くなった。
2026年の新病院への移転に向け、累積欠損金の解消など、経営改善に取り組む。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が示すとおり、建物及び設備の老朽化が進んでいる。
2026年に西宮市立中央病院と統合し新病院に移転予定であり、大規模な投資は困難な環境であるが、施設点検の強化により緊急度を精査しながら、病院運営に支障を来すことがないように維持管理に取り組んでいる。
また、医療機器の整備についても、新病院に向けて、医療機能の発揮に支障が生じないように計画的に更新を行っていく。

全体総括

平成22年度から9年間継続して経常収支比率100%以上を確保していたが、新型コロナウイルス感染症の影響による減収や、給与費や、設備老朽化による経費の増等により、令和元年から5年連続で100%を下回った。
この状況を改善するため、救急患者の受入体制の強化や地域医療機関との連携強化による急性期患者の確保や、逆紹介の推進に努めるとともに、診療報酬改定に対応した各種加算の取得など、診療機能に見合う収益の確保や、診療材料の購入価格の適正化など、費用の削減に取り組むことにより、病院経営の改善に努めていく。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。